

No.	024	—	3042	事務事業名	向井古墳史跡公園清掃管理委託事業						公的関与	1	
PLAN	課名	生涯学習課	係名	文化振興係	電話番号	089-964-0701		メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	1 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用				
	事業の目的	公園利用者が快適に古墳見学を行えるため。				根拠法令等	文化財保護法						
	事業の手段	公園内のトイレ清掃や除草、植栽の手入れを樋口老人クラブへ委託して整備します。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
		利用者からの苦情		苦情件数		回	目標	0	0	0	—		
							実績	0	0				
		史跡公園の維持管理業務				回	目標	12	12	12	12		
							実績	12	12				
						目標							
					実績								
活動内容	①	向井古墳史跡公園内のごみ清掃、除草、植栽木の管理、トイレ清掃。			④								
	②	公園内設備全般の事故及び破損の発見時の応急処置及び市への報告。			⑤								
	③												
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	155千円	156千円	156千円								
	計(A)	155千円	156千円	156千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.020人	125千円	0.020人	125千円	0.020人	124千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		280千円	281千円	280千円								
一次評価者	文化振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	文化財を保護、保存する上で、史跡公園の清掃委託事業は必要不可欠なものです。												
有効性	文化財の保護に関わる事業は、郷土の文化の向上に有益であり、継続していく必要があります。												
達成度	史跡公園の保護のために実施している清掃委託事業は文化財の現状維持に有効です。												
効率性	管理委託を地元の樋口老人クラブに委託することは、コストも低く抑えられ、また現場の状況に詳しいため、迅速な対応ができます。												
当面の課題	向井古墳史跡公園墳丘は昨年から猪の掘り返し被害が出ており、その度に埋め戻し作業をしています。												
改訂計画	猪対策として猟友会へ罠による捕獲や見廻りを依頼するとともに、史跡公園として適切な保存ができるよう新たな方策を検討します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	文化財は後世に引き継がねばならない財産であり、これを保存活用することは本市の文化行政において欠くことができないものです。向井古墳史跡公園は地元で管理を委託していますが、近年、有害鳥獣の被害が発生しているため、猟友会との連携強化を図るとともに、新たな保護対策を検討する必要があります。												

No.	024	—	3043	事務事業名	歴史民俗資料館運営事業				公的関与	6			
PLAN	課名	生涯学習課	係名	文化振興係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	1 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用				
	事業の目的	歴史民俗資料館の施設管理及び資料の適切な保管のため。				根拠法令等							
	事業の手段	施設の維持管理等を継続して実施します。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標		
		歴史民俗資料館の利用者数					人	目標 2,620	2,400	2,400			
								実績 2,583	1,376				
								目標					
								実績					
						目標							
						実績							
DO	活動内容	①	歴史民俗資料館の管理運営(各種講座運営)			④							
		②	歴史民俗資料館展示室のクリーニング清掃			⑤							
		③	事務用品(消耗品)や備品の購入										
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	3千円	6千円	6千円								
		一般財源	1,323千円	2,153千円	2,766千円								
		計(A)	1,326千円	2,159千円	2,772千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.496人	3,096千円	0.496人	3,098千円	0.496人	3,077千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		4,422千円	5,257千円	5,849千円									
一次評価者	文化振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	施設の管理は、収蔵庫、展示室の空調管理が必要です。また、施設改修については、図書館と一体のため総合的な検討が必要です。												
有効性	収蔵物を損なわない管理が重要です。歴史民俗資料館は展示施設でもあり、来館者が利用しやすい環境の保持が必要です。収蔵品や展示替えなどの情報提供に努めています。												
達成度	施設の改修工事の予定はありませんが、修繕等速やかに対応し、来館者に不都合のないようにしています。												
効率性	図書館との複合施設であり、図書館入口の掲示スペースや施設内の階段壁面を活用して、展示案内用ポスター、パネルを掲示しています。												
当面の課題	建物が建築後30年以上経過しているため、各所で老朽化が見られますが、部分的な修繕等で随時対応しています。												
改計画	図書館も含めた施設一体で、計画的な電灯のLED化を行い、利用者サービスの拡充と施設の長寿命化を目指します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	歴史民俗資料館は、来館者の増加を図るため平成28年度から祝日開館を実施してきましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、臨時休館期間があったため、入館者数は大幅に減少しています。今後は感染防止策を講じながら、利用者が安心して来館できる施設の運営が必要です。												

No.	024	—	3044	事務事業名	文化財保護事業					公的関与	1		
PLAN	課名	生涯学習課	係名	文化振興係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	1 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用				
	事業の目的	文化財の適切な保護、保存を行うため。				根拠法令等							
	事業の手段	文化財を後世に伝えてゆくため、文化財所有者への保存方法等の助言や保存・維持管理に係る経費の補助などを行います。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
		指定文化財等の維持管理				件	目標	70	70	70	70		
							実績	70	70				
							目標						
							実績						
						目標							
	実績												
DO	活動内容	①	文化財保護審議会の開催			④	指定文化財保存育成事業補助金交付(管理費・保存育成費)						
		②	重要文化財建造物の防災防火事業			⑤							
		③	指定文化財等の周辺除草清掃										
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考								
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円									
	地方債	0千円	0千円	0千円									
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円									
	一般財源	2,071千円	1,854千円	1,960千円									
	計(A)	2,071千円	1,854千円	1,960千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.425人	2,652千円	0.425人	2,655千円	0.425人	2,637千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		4,723千円	4,509千円	4,597千円									
一次評価者	文化振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	文化財は市民のかけがえのない財産であり、これらを保護することは本市の文化行政において、欠くことができないものです。												
有効性	文化財保護審議会の開催は、市指定文化財保護育成事業や、文化財の保護に成果を上げており、有効と考えています。												
達成度	後世に伝えるべき文化財は指定し、保存事業の対象としています。												
効率性	文化財保護審議会の意見を尊重しながら事務を進める必要があり、審議会委員への的確な情報提供を行います。												
当面の課題	文化財保護審議会の委員が高齢化しているため、新たな後継者の育成を図ります。												
改革計画	文化財保護審議会の体制強化を図るため、東温史談会員等から専門分野での人材確保を検討します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	かけがえのない文化財を後世に伝承するためには、文化財保護審議会による意見を聴取し、適正な措置をとらなければなりません。そのためにも、審議会委員の人材確保はもとより、文化財の保存育成補助金や管理補助金の適切な運用など、多方面での施策を講じる必要があります。												

No.	024	—	3062	事務事業名	デジタルアーカイブシステム保守管理委託事業						公的関与	8	
PLAN	課名	生涯学習課	係名	文化振興係	電話番号	089-964-0701		メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	1 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用				
	事業の目的	歴史民俗資料館が所蔵する収蔵データを広く市民に周知するため。				根拠法令等							
	事業の手段	東温市文化財・収蔵資料データベースによる収蔵資料の情報提供とPRを行います。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
		データベース閲覧件数				件	目標 300	300	400	500			
							実績 カウント不可能	カウント不可能					
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	①	デジタルアーカイブシステム保守管理委託			④							
		②	デジタルアーカイブレンタルサーバー委託			⑤							
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	1,598千円	308千円	383千円								
	計(A)	1,598千円	308千円	383千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.210人	1,311千円	0.210人	1,312千円	0.210人	1,303千円						
	臨時職員工数・経費	0.150人	298千円	0.150人	297千円	0.150人	297千円						
全体事業費(A+B)		3,207千円	1,917千円	1,983千円									
一次評価者	文化振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	所蔵資料を公開することで、より広く情報提供できるため必要です。												
有効性	資料を鮮明な画像で照会することで、資料の研究者等、来館前に収蔵情報を確認できるため有効なシステムです。												
達成度	市のホームページと連動しており、資料の情報提供はできています。												
効率性	サーバーの使用料等、市役所の関係部署と調整しながらコスト削減に取り組めます。												
当面の課題	デジタルアーカイブシステムのPR,更新に係る経費の見直しを図ります。												
改計画	関係部署との情報共有や検討事項の見直しを図ります。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	文化芸術は、コロナ禍において大きな岐路に立たされています。ウイズ・コロナの時代において、デジタル・コンテンツを活用した情報発信はより重要性を増していることから、今後も引き続き魅力あるアーカイブの運用促進に努めてください。												